

Project	地域協働専攻 地域環境科学グループ
29	キャンパスを中心とした地域の環境及び景観の向上
メンバー	[学 生] 佐々木 菜南 / 吉田 晃 / 佐藤 太一 / 大泉 咲乃 / 佐藤 綾菜 / 加茂 大宜 / 橋本 真由子 [担当教員] 三上 修
<p>【背景】 函館校周辺では、近年、蛾の一種であるアメリカシロヒトリ(以下「アメシロ」)が大量発生し、次のような問題が生じていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路樹やキャンパスの樹木が食害されて景観が悪化する。 ・大学の壁面に大量の幼虫が這い、学生および職員が不快な思いをする。 ・大学の近隣住宅の壁面に大量の幼虫が這うため地域住民からの苦情が生じている。 <p>【目的】 そこで、次の2つの目的をもって活動をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路樹および大学構内の樹に、こもを巻くという安価で手軽だが、一般的には知られていない手法によって、アメシロの発生を抑え、上記の問題を直接解決する。 ・同様の被害は、日本全国で起きていることから、ウェブサイトを作成し、こもの巻き方、効果に関する情報を発信し、その安価で手軽な駆除方法を広める。 <p>【概要】 以下の3つの活動をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメシロの基本情報調査 ・こも巻きによる駆除実施 ・ウェブサイトの作成と公開 	
<p>【プロセスと成果】</p> <p>4-6月: アメシロの駆除に向けて、「生態・経路・歴史」「駆除方法」「被害報告」のテーマに分かれて、情報収集に取り組んだ。集めた情報をまとめ、地域プロジェクト中間発表会で発表した。</p> <p>7-8月: 大学構内の木に41本、学外である八幡通りの街路樹木に29本のこもを巻き、こもに入った幼虫をこもごと回収し駆除した。八幡通りでは、街路樹29本で778匹を駆除した。これらは秋に数万匹の幼虫を産みだすことになるので、それだけの幼虫による食害を事前に防いだことになる。</p> <p>9月以降: 同様に秋に発生するアメシロを駆除するために、前述と同様にこもを巻き駆除を行った。さらに情報発信のためにウェブサイトを公開し、活動の写真やスケジュールなども掲載した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div data-bbox="212 1701 781 2038" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="829 1701 1398 2038" data-label="Image"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="407 2061 578 2091" data-label="Caption">こもを巻く様子</div> <div data-bbox="899 2061 1333 2091" data-label="Caption">こもの中で蛹になったアメシロの幼虫</div> </div>	

【総括と反省・今後の課題】

前期の反省

- ・4～6月は、アメシロに関する情報を共有し合い、プロジェクトメンバー同士で知識を深め合う事ができた。
- ・八幡通りのこも巻きでは、こもによって景観を損なわないように注意し、見栄え良く巻くことができた。
- ・地域住民から活動について問われた時には丁寧な説明を行い、関心を持ってもらえるよう注力した。
- ・前期地域プロジェクト発表会では、共有し合った情報を中心に、アメシロの生態や歴史、こも巻きについて発表することができたが、音声の不具合が発生してしまった。事前確認が足りなかった。

後期の反省

- ・ホームページ作成では原稿を分担して効率よく作成することができた。情報発信する相手は一般の人であることを意識して、誰もが理解しやすい文章作りを心掛けた。
- ・後期の活動開始時に原稿完成の期限を設定し、皆締め切りを遵守したことによって年末にはホームページを完成することができた。
- ・後期地域プロジェクト発表会に向けて、前期の音声トラブルの反省をしリハーサルを行った。リハーサルでは実際に距離を取り、本番を想定して行った。音声が途切れていないか、パワーポイントの不具合は無いかなど丁寧に確認した。本番では、問題無くスムーズに発表を進めることができた。
- ・前期の活動と比較して、後期のこも巻きではチームワークが向上しスムーズな連携ができ、手際良く行えた。
- ・後期地域プロジェクト発表の準備ではホームページ作成用に作成した資料や原稿に基づいて作成したため効率よく発表原稿を完成することができた。

【地域からの評価】

- ・こも巻きを実施している際に、地域住民から声をかけられることが何度かあった。
- ・その時に、活動の応援をしていただいたり、活動に興味を持っていた。
- ・北海道新聞に活動を取り上げていただいた(2022年8月9日夕刊「外来種のが大量発生防げ 函教大生 駆除へこも巻き」※報道の記録・P97に記事掲載)。
- ・このことで、私たちの活動がよりたくさんの人に知ってもらえる良い機会になったと考える。



【年間スケジュール】

前期	4月	・生態・経路・歴史、駆除方法、被害報告について情報収集し、発表し合う
	5月	
	6月	
	7月	・アメシロの幼虫発生に対し、7月末に学内と八幡通りにこもを設置 ・前期地域プロジェクト発表会
後期	8月	・こもを回収 ・駆除の効果を検証
	9月	・アメシロの幼虫発生に伴い、こもを9月末から10月初旬にかけて学内と八幡通りに設置
	10月	
	11月	・幼虫が入ったこもを回収
	12月	・ホームページ完成
	1月	・後期地域プロジェクト発表会

